

## 6. 民話の研鑽と出前口演

～語り継がれてきた“昔ばなし”を語り継ぐ～

グループ名 民話の会どんとはれ

代表者名 蓑輪 政一

### 1. 活動の目的

埼玉県は、高齢者の学習の場として、10か所で「彩の国いきがい大学」（一年制課程6学園、一年制課程【専科コース】2学園、二年制課程4学園）を開校（いずれも60歳以上の年齢制限あり）している。本学では、社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域活動のリーダーとして活躍していくことを目的としている。伊奈学園他の二年制課程では、一般教養を学習する共通科目に加えて、4つの専門科目に分かれて学習を行っている。また、学習に併せて、学生が自主的に自治会活動やクラブ活動を行い、相互の交友を深め、いきいきと活力あふれる学園生活を送っている。

平成18年に伊奈学園に入学して「民話クラブ」に入った12名は、20年3月に卒業後は、『いつまでも元気で、持てる気力・知力・体力を家庭や社会のために生かし、いきがいを持って、キラリと光るゴールデンエージを過ごしたい。』そんな気持ちで、「民話の会どんとはれ」を結成した。毎月2回の例会を開き、昔から各地に伝承されてきた民話等について研鑽し、先人が残してくれた文化と生活の知恵を学びつつ楽しむと共に、老人施設や各地いきがい大学OB会、自治会集会、小学校の放課後児童クラブ等に出向いて民話を語り、親睦の輪を広げて地域社会に貢献することを目的として活動を続けている。

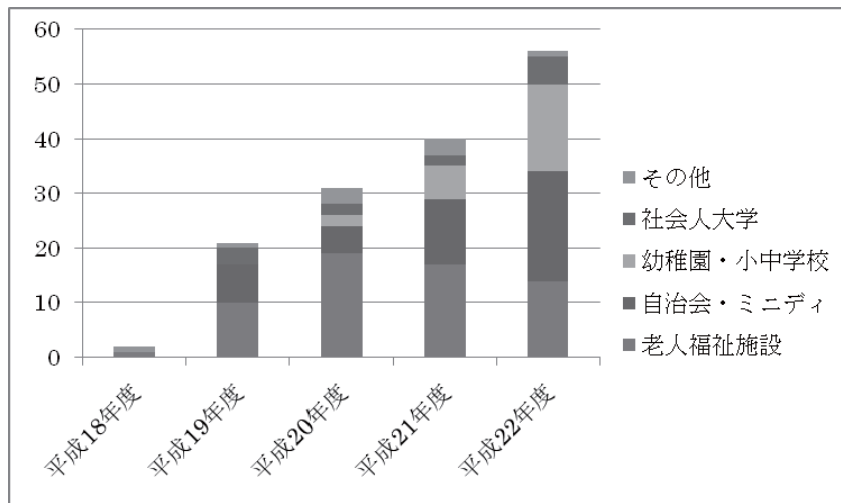
### 2. 活動概要

#### ①出前口演：『今日もお出かけ！どんとはれ』

出前口演の要請は、月3～5回と多くなってきたが、12名でやりくりがつく限り受けることにしており、断ったことはない。帰り際に『笑いあり、涙ありで楽しかったよ。また来てください！』と言われると感激して、『来てよかったな～』と率直に思い、生きがいを感じている。

在学時からの口演回数（発表会を含む）をグラフにすると下記の通りとなる。

伊奈学園在学中の平成18年度の2回からスタートして、19年度21回、卒業後の20年度31回、21年度40回、22年度56回と推移している。年に56回ということは毎月4.7回で、毎週1回は確実に出かけて口演してきたということになり、『今日もお出かけ！どんとはれ』というキャッチフレーズが出てくるゆえんである。



## ②昔ばなしの研鑽

毎月第一・第三木曜日を『例会』に充てており、新しい演目に取り組んでいる者が前に出て語り、出席者が率直な感想を述べ合っている。また、毎年1回『合宿研修』を行ってきたが、平成23年1月28日(金)～30日には、念願の『遠野昔ばなし祭り』に参加してきた。遠野の語り部長老の正部家ミヤさん(88歳)他の皆さんの語りを聞くだけでなく、懇親会の席で2名が10分ずつ語る時間をいただき、舞台上で川崎隆男が「千石田長者(富山県)」を、熊谷康夫が「カッパの徳利(埼玉県)」を披露した。隣席にいた語り部の方から「二人とも声が良く通って、聞きやすかった!」との評をいただいた。

また、平成20年3月の卒業時に【民話の会どんとはれ】を結成した際、JR浦和駅東口前の「さいたま市コミュニティセンター」で旗揚げ『昔ばなし口演会』を開催した。そして、日頃の研鑽の結果を披露するために第2回を平成21年3月に、第3回を平成22年3月に開催してきた。第4回[昔ばなし口演会]は平成23年3月25日に開催すべく準備してきたが、3月11日に“東日本大震災”が発生したこともあり、自粛して開催を延期した。本年秋に会場が予約出来れば開催する予定であるが、まだ確定していない。

## ③“昔ばなし”を語り継ぐ

伊奈学園の新入生に対して【民話クラブ】入会を勧誘したり、クラブが成立した21期民話クラブ(現在2年生)、22期民話クラブ(1年生)には週1回の練習日に講師として川崎隆男を派遣している。また、卒業して3年が経過した18期生の「民話の会」が最近になって「民話の会おぼこ」として再結成されたので、米山正順がその指導役を務めている。

ところで、いきがい大学12校で民話クラブがあるのは伊奈学園だけであるが、[部員10名以上]というクラブ成立の条件があり、19期・20期はクラブが成立しなかった。21期の新生が入って来た時、当時の学園所長が『伊奈学園から民話の火を絶やすな!』と[部員10名以上]というハードルを下げ、8名で「民話クラブ」が誕生した。そのおかげもあり、22期では12名の入部希望者が出てすんなりクラブが誕生した。本年も7月21日から小学校の夏休みが始まったが、17期の「民話の会どんとはれ」と18期「民話の会おぼこ」、さらに実地研修という意味で現役の21期生・22期生も加えた4グループで、各地の「放課後児童クラブ」を訪問する予定である。

## 3. 決算報告書

単位：円

収入	大同生命厚生事業団 シニアボランティア活動助成金	100,000-
支出	例会会場費(毎月2回)	21,560-
	「昔ばなし発表会」開催準備費	48,440-
	・官製はがき代(案内用:20,000円、中止用:17,500円)	(37,500-)
	・開催案内チラシ印刷代	(6,300-)
	・い草敷物(2枚)	(4,640-)
	研修費(『遠野昔ばなし祭り』に参加)	30,000-
	・交通費補助(一人2,000円×11名)	(22,000-)
	・「遠野の昔話」CDセット(4枚組)	(8,000-)
支出合計		100,000-

4. 平成 22 年度活動記録明細表（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

ボランティア等内訳（56回）		
老人福祉施設 14回	サンビュー埼玉（さいたま市）	4回（計15回）
	あいせんハイム（加須市）	2回（計10回）
	ふれ愛の郷（加須市）	3回（計8回）
	カントリーハーベスト北本（北本市）	4回（計13回）
	グループホームみんなの家（さいたま市）	1回（計2回）
自治会・ミニデイサービス 20回	大宮東中学校（さいたま市）	1回（計6回）
	ミニデイさくら苑（蓮田市）	7回（計10回）
	ミニデイ城（蓮田市）	3回（計5回）
	岩槻サロン愛櫻会（さいたま市）	
	埼玉ホームヘルプ協会（さいたま市）	
	桶川べにばなふるさと館（桶川市）	2回
	八王子センター（さいたま市）	
	「エーザイ豊友会」本庄支部新年懇親会（本庄市）	
	いきいきサロン（鴻巣市）	
	白岡社協講習会（白岡町コミセン）	
医療生協与野支部（さいたま市鈴谷公民館）		
学童クラブ・幼稚園等 16回	大谷口保育園（さいたま市）	4回（計9回）
	わくわく子どもの家（学童・さいたま市）	8回
	西放課後児童クラブ（桶川市西小学校）	
	加納放課後児童クラブ（桶川市加納小学校）	
	鴻巣市中央学童保育室（鴻巣市）	
	宮原小学童クラブ（さいたま市）	
各地の社会人大学等 3回	さいたま市シニア大学東浦和校3期（プラザE）（さいたま市）	
	いきがい大学浦和学園校友会32期（さいたま市）	
	春日部市ふれあい大学校友会（春日部市）	
その他 3回	彩の国いきがい大学公開講座「地域活動事例発表」、出席1,600名	
	「放課後いきいき応援隊」報告会（伊奈町・県民活動総合センター）	
	17期校友会発表会（3回目）（伊奈町・県民活動総合センター）	
	（3/25第4回口演会：東日本大震災発生のため自粛して延期）	

# 念願の「遠野昔ばなし祭り」に参加 平成23年1月29日 伝承園・たかおろ水光園



上左：会場となった伝承園

上中：語り部最長老の正部  
家ミヤさんの語りを聞く

上右：懇親会時にミヤさん  
を囲んで記念撮影

下左：カツパ淵にて

下右：懇親会の席上で語る  
川崎隆男さん、右手前はそ  
の話を聞く正部家ミヤさん